

2025 年 10 月 27 日

イベント開催のお知らせ

2025 年度 長野県立美術館 インクルーシブ・プロジェクト

「みる」を考える

見えない人と見える人が一緒にみるために

2025.11.30 (日) 開催

見えない人と見える人が一緒に美術を楽しむにはどのようにしたらよいでしょうか？

長野県立美術館ではインクルーシブ・プロジェクトの一環として、『「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために』を開催します。本イベントでは、視覚障がい者と美術を楽しむための研究や実践を行っている京都教育大学准教授 日野陽子氏をお迎えし、視覚障がいの方と一緒に展示室で対話による鑑賞を行います。本イベントの開催についてぜひ取材をお願いします。（取材を希望される場合は、当館広報・マーケティング室まで事前にご連絡ください。）



©2020 a.takagi

【開催概要】

催事名：「みる」を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために

開催日：2025 年 11 月 30 日（日）

時 間：13:30 ～ 16:00 頃

会 場：長野県立美術館 本館 3 階レセプションルーム・展示室 1, 2, 3

ゲスト：日野陽子（京都教育大学准教授）

参加費：無料

対 象：障がいのある方（視覚障がい）、障がいのない方 合計 20 名程度（申込先着順）

申 込：要、専用申込フォームにて受付

※専用申込フォームでの申込が難しい方は、電話または FAX での参加
申込も可能。

申込期間：10 月 27 日（月）9:00 ～ 11 月 28 日（金）17:00



< ↑ 専用申込フォーム >

■ゲスト紹介

日野 陽子（ひの ようこ）

兵庫県生まれ。京都教育大学准教授。専門は美術教育学。視覚障がい児者の美術活動（表現、鑑賞）について、視覚支援学校や市民グループと共に研究を続ける。2012年～2015年にかけて、財団法人細見美術館の協力を得て、おしゃべり音声ガイドを作成、実施使用。2017年～2019年まで、京都市国立近代美術館の所蔵品を触って鑑賞できるツールにした「さわるコレクション」に作成協力。美術館での視覚障がい者との鑑賞イベントを監修・講師として参加。2022年度より長野県立美術館にて開催している、『『みる』を考える 見えない人と見える人が一緒にみるために』のアドバイザーを務める。

*インクルーシブ・プロジェクトとは…

長野県立美術館インクルーシブ・プロジェクトは、美術館がだれでも安心してアートと出会える場所になることを目指すプロジェクトです。だれもが美術館を訪れ、障がいの有無を超えて、アートを体験できるようなさまざまなプログラムを、年間を通して開催しています。



■報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 広報・マーケティング室 〒380-0801 長野市箱清水 1-4-4（善光寺東隣）

TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050 E-mail：nam-pr@naganobunka.or.jp